

【はじめに】

中西遺跡は、御所市^{ごす しやう}室、條地内に広がる弥生時代から古墳時代、鎌倉時代におよぶ遺跡として知られていました。昨年度からおこなっている京奈和自動車道建設にともなう発掘調査で、厚い洪水砂^{おほい}で覆われ埋没した弥生時代前期（いまから約2400年前）の水田を検出しました。従来、弥生時代前期の水田は、本来の地形を改変することなく小規模に行われていたと考えられてきました。しかし継続して実施してきた発掘調査で広面積にわたる水田が検出され、弥生時代の水田のイメージを変えるものとして注目されました。そして今回の調査では、先の調査に続く水田とさらに周辺環境が復元できる森が発見できました。

【調査の概要】

今回の調査では、昨年度に検出した水田の続きに加えて、その南に広がる森林域を新たに検出しました。水田と森林は厚さ1.0～1.5mの洪水砂^{おほい}によって一気にパックされていたため、後世の攪乱^{かくらん}を全く受けることなく、埋没した時点の状況そのままに検出することができました。そのため、当時の景観を詳細に復元することができます。

森の中では大地に根を張った状態のままの樹木200本あまりを検出しました。樹種の詳細は現在分析中ですが、ヤマグワ（最大径34cm）、オニグルミ（最大径37cm）、クリ（最大径54cm）、トチノキ（最大径42cm）、エノキ（最大径100cm）、ツバキ（21cm）、カエデ（最大径28cm）等が含まれており、広葉樹の二次林が広がっていたことがわかりました。

地面には、人や動物の足跡が数多く見られ、弥生土器片とともにサヌカイト片（石器の破片）が多く出土しています。人々が森の中に立ち入り活動した痕跡^{いんせき}がはっきりと残されていました。地表面からは、クルミ、トチ、コナラ等の種子が出土しており、堅果類を食料として採集していたと思われます。

加工された木材の他に切り倒された切り株なども、その原位置で残っていました。木器製作に用いる原木もこの森で調達していたと考えられます。また、切り株は根本から1m程度で切断されています。弥生時代前期、樹木伐採に際し、根本からどの程度の位置で切断するのが今回初めて明らかとなりました。伐採後の木材利用にも関わる重要なデータを得ることが出来ました。

【まとめ】

周辺の発掘調査で、近年、水田遺構の検出例は増加していますが、水田域とそれに隣接した森林が同時にかつこれほど大規模に検出された例は、全国的にみても初めての事です。埋没林は全国で40例ほど検出されていますが、その時期を特定でき、なおかつ森林での人々の活動を確認できた例はほとんどなく、貴重な例といえます。

中西遺跡は、水田とその周辺に広がる里山、そしてそこで生活していた人々の生活を生き生きと伝えており、この時代を立体的に復元できる極めて稀な遺跡となりました。今後、弥生時代集落と水田、そしてその周辺に広がる景観の代表的なモデルとなると思われます。



姿をあらわした森の様子



焼けたエノキの切り株

京奈和自動車道（御所区間）建設に伴う
中西遺跡発掘調査 現地説明会資料

2010（平成22）年8月7日

奈良県立橿原考古学研究所

〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町1番地

電話 0744(24)1101 ｻｲﾄ http://www.kashikoken.jp/

中西遺跡発掘調査 現地説明会資料

～弥生時代前期の水田と里山～

奈良県立橿原考古学研究所

2010年8月7日



今回の調査地と周辺の遺跡
〔国土地理院発行1/25,000地形図(御所)を使用〕



コラム1
耕す
 北側の水田域では、
のりこ農耕具である石鋤
いしくわが出土しました。木
 製の農具も使われ
 ていましたが、縄
 文時代からある石鋤も水田を耕す
 のに使われていたのでしょうか？



コラム2
採取
 森林にはオニグルミ、ド
 ソグリ、トチノミなどの
 木の实が出土した。クリ
 やヤマグラブの木も生えて
 いました。
 水路北側堤のすそ裾から焼け
 たクルミの殻がまとまっ
 てみつかっています。
 採ってきてここで食べたのでしょうか？
 稲作がはじまっても木の実は重要な食料でした。



下層遺精面の全体図 (弥生時代前期の水田と森林)
※調査途中の現況図です。細部は変更する可能性があります。



コラム3
木材の駒達
いし石斧により切られた幹(ク
り材)の一部が残されて
 いました。使えない部分
 を置いて帰ったのでし
 ょうか？



コラム4
狩猟
 森林では、人の足跡の他に
 イノシシなどの獣の足跡も
 多く見られました。石鏃せきぞくが
 6点出土していることから、
 狩り場としても使われてい
 ました。

水田が多数方向をみる (北が多数をみる)

